

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0172900862		
法人名	有限会社シエナリゾート		
事業所名	グループホームことぶき()		
所在地	旭川市3条通21丁目1973-10		
自己評価作成日	平成23年12月22日	評価結果市町村受理日	平成24年1月10日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0172900862&SCD=320
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	タンジエント株式会社
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内
訪問調査日	平成23年12月22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

外出の支援・・・四季折々に外出し、気分転換、運動量の確保、五感刺激の為に一年中に渡り実施している。(冬まつり見物・河川敷きに野鳥観察・花見・花壇公園散策・上川神社祭の縁日見物・秋の遠足・紅葉狩り・寿司外食)
 行事・・・施設内でも、ストレス発散し、日々楽しく生活出来る様に一年中に渡り実施している(誕生会・節分豆まき・節句の祝い・七夕祭り・夏祭り盆踊り・敬老の日祝い・クリスマス会・他にボランティアによる演奏会)
 食事の提供・・・献立は旬の食材を豊富に使い、好みに合わせた食事の提供をしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・**外出への支援や施設内イベントの実施と地域で開催の福祉サービスの参加**
 各グループホームの利用者が年々重度化して、外出の支援が困難な現状で、当施設では、歩行困難なケースでも、車、車椅子を利用して、四季折々の地域イベントの見学、散策、外食など戸外に出ることを積極的に支援している。同時に、施設内における誕生会をはじめ、各種のイベントが数多く開催されている。また、地域の一人として公民館で開催されている「地域ふれあいサロン」にも積極的に参加しており、ユニークな事業所である。
 ・**職員の就業環境整備と調理における工夫の取り組み**
 職員のやりがいや向上心もてるよう勤務年数による有給休暇の取得や職員互助会の結成、資格取得への支援など職場環境の整備に努めている。また、利用者との日常的な関わりの中で生まれたアイデアで、利用者の個々の力を活かしながら職員と一緒に調理前の手作業の分担や自前の手造りおやつを提供しており、特徴ある取り組みがされている。

. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します			
項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求 めていることをよく聴いており、信頼関係ができ ている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が ある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地 域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係 者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理 解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表 情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく 過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟 な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	朝礼や職員会議などに、地域との関りの意義を伝え、方針などを申し送りし、実践している。	事業所独自の理念をつくりあげ、ミーティングを通じて話し合い、職員間で理念を共有している。また、施設内には、来訪者に判りやすいところに理念を掲示している。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域行事には事業所として参加をしている(町内会役員・資源回収・冠婚葬祭・新年総会他)	町内会に加入し、各種の町内会の行事に参加しており、事業所主催のイベントを通じて、地域の人達と日常的な交流に努めている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域行事などに参加をした時には、どうしたら自宅で暮らす事が出来るか・とか、認知症の症状や特徴、関わり方についての相談を受けている。		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に行う運営推進会議で地域との協力体制を具体的に話し合い、意見を運営に反映している。	定期的に開催され、地域住民や家族の協力を得て、地域との協力体制やサービス提供等の具体的な内容について話し合っている。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	包括支援センターとは研修会参加などを通じて連携をしている。	市担当者や包括支援センターとは、日常業務を通じて情報交換を行い、相互の連携を深めるように努めている。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	内部研修等で身体拘束は、危険を伴いやむを得ない時に限り、ご家族の承諾の上実施する。玄関施錠については、リモコン自由開閉によりご家族の理解の下に行っている。	身体拘束について、内部研修会や職員の身体拘束のアンケートの実施等で管理者及び職員の共有が行われている。また、玄関の施錠は、家族の理解を得て、リモコンの自由開閉を行っている。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待の見過ごしなどは有りえず、職員は入居者と寄り添い、身体拘束・虐待予防の自己評価表をチェックしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	過去に成年後見制度を利用していた入居者もいて学ぶ機会をもった。今後も個別に相談があれば、専門家の指導を受けながら支援していく用意がある。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、時間をとり説明をしている。認知症の重度化や特変に応じた医療機関との連携により退去後の支援も行う。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の設置や家族からの直接意見、苦情は速やかにくみ取り、処理表に記入して職員全員に回覧し改善方法など纏める。	家族や来訪者等が意見や苦情等を言い表せるように意見箱を設置しており、利用者や家族が気軽に話しかけの出来る雰囲気作りにも努めている。	
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議他、日常業務でも職員の意見や要望を話し合う機会を設け、職場環境を整えている。	定期的な職員会議や、日頃の業務の中で、意見や提案、要望等を話し合う機会を設け、業務改善や運営に反映できるように努めている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々の努力によりキャリアがアップした事を認められれば役職、昇任など職務が与えられ、職場環境の整備に努めている。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修は、交代で全員が参加する機会を確保している。個々に、介護福祉士を取得していく職員も増えている。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	旭川グループホームケア研究会に加入し、ネットワークづくりや研修会参加、相互訪問を行いながら、サービスの質の向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の不安、苦しみ、喜び等を知る事に努め、現況を把握し、話を良く聞き信頼関係を作っていく		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人の日頃の状態をこまめに報告、相談すると共に、来訪時はご本人と家族の潤滑油になる様心がけている		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人やご家族の思い、状況等を確認し改善に向けた支援の提案、相談を繰り返す中で信頼関係を築きながら必要なサービスにつながる様にしている		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の思いを共感し共に暮らす同士と支え合って生活している 穏やかに暮らすように場面づくりと声掛けをしている		
19		本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員は本人と一緒に支えるために家族の絆を大切にしながら報告、相談を行い、支えていく関係を築いている		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	個々の生活習慣を大切に馴染みの知人、友人の交流ができる様に支援に努めている	家族や友人、知人が気軽に来訪できる環境に努め、馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援に努めている。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士の係わりを見守り、関係が円滑になる様、支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	行事の案内をし参加してもらえるようにしている		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中でよく言われる言葉、行動などで本人がどうしたいのかを考える	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向をコミュニケーションの中から聞きだして把握に努め、同時に、本人の思いを家族からも確認し、職員間で情報の共有が行われている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	昔話等を聞いたり、趣味や好きな物等を把握し、その情報を職員で共有し、それぞれの暮らしができるように努めています		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々変化する一人ひとりの心身状態や生活リズムを把握し、現状の変化に対応するように努めています		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族には訪問時に生活の様子や変わった事等を報告している。職員だけでなくご家族と話し合いを行い、ケアプラン、モニタリングしている	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族の意見や思いを話し合いながら、反映するよう努めている。また、カンファレンス、モニタリングを通じて介護計画に職員の意見を反映している。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別のファイルを用意し、食事、水分量、排泄等身体的状況及び日々の暮らしの様子、本人の言葉、エピソード等を記録している。職員の気づきや利用者の状態変化を個々のケア記録に記載している		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者や家族の状況や要望に応じて必要な時に必要なサービスを臨機応変に対応している		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	本人の希望や体調に応じて訪問理美容サービスを利用してもらっている 地域のふれあいサロンに積極的に参加している		
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族が希望するかかりつけ医となっている時には、訪問診療に来てもらう事もある 入居後も主治医の変更を勧めたりせず、本人の今までのかかりつけの病院へ受診している。必要に応じて受診の際、ご家族も同行している	本人や家族の希望するかかりつけ医となっている。医師の往診や看護婦との連携で適切な医療が受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員は勤務していないので、介護職員が通院対応、緊急時には救急車の対応を行っている		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	かかりつけ医の継続医療により退院状態を考慮して頂き、関係を密にしている		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ができることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化に伴いご本人、ご家族の意向を確認しながら医療行為で入院が必要となるまで十分な支援を行っている	本人や家族の意向を踏まえ、医師、看護婦、職員が連携をとり、事業所ができることを十分に説明しながら方針を職員間で共有している。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	各自出来る限り適切に対応出来るよう受講を受けたりミーティング等で話し合いをしている		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の訓練を通じて全職員が身に付けられるようにしている。また、地域の方にも参加していただき協力体制もできつつある	スプリンクラーの設置が完了しており、消防署の協力を得て、定期的に火災避難訓練や消火訓練を実施している。	
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員一人ひとりが意識して心がけている。気づく事があれば互いに注意し、改善するようにしている	個人を尊重し、誇りやプライバシーを損ねるような言葉がないようコミュニケーションや言葉かけに努めている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	思いや希望を可能な限り実現できるようにしている		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	可能な限り支援している		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	声掛けを大切にしているとおしゃれに気をかけるよう支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの好き嫌いを提示し、目先を変え楽しめる食事にし、食後は食器洗いや拭きをして頂いています	職員と一緒に楽しんで、野菜の皮むきや食器洗いなど食事の準備と後片付けの支援を行っている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	塩分、水分、その人に合った食事量を把握し、調整。体調に合わせおかげ等にして配慮、片寄りのないバランスで支援している		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後には、義歯洗浄、口腔ケアを心がけて個々の状態を確認するように努力している		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄時の見守りを行い、その一人ひとりに合わせた排泄が自立して出来るように支援している	排泄チェック表で排泄パターンを把握し、トイレで排泄できるよう声かけや誘導をして、おむつを使用しない自立に向けた支援をしている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	状態に合わせて繊維質の多い物や乳製品などを取ってもらうように心がけています。また便秘の状態を確認しながら下剤を服薬してもらったり、記録を取っています		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入居者さんも入浴の日を把握しており楽しみにしている為、可能な限り、入居者さんの希望にそった支援をしている	一応、入浴日を設定しているが、一人ひとりの希望や体調、生活習慣に応じて入浴が楽しめるように支援している。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中活動していても疲れた時はお昼寝や休憩を促す声かけをしています		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の薬の服薬内容について職員は把握するようにしています。症状の変化については医師にその都度、相談し、指示を仰ぐようにしています		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食事の後片づけや、もやしの芽とりなど、入居者さんの得意分野を生かして職員も一緒に行いながら支援しています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>天候、本人の希望に応じて買物、スーパー、コンサート、ドライブ、縁日、散歩、近所のお宅等に車や車椅子等を利用して支援している</p>	<p>各グループホームで年々重度化して外出が困難な状況の中で、本人の希望に応じて、車、車椅子を利用し、できるだけ戸外に多く出かけることができるよう支援をしている。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>少額を手元に持っている方もおり事業所が預かっている方もいる。買物時は本人に手渡し支払い出来る様支援している</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>居室に電話があり、他の利用者さんに聞こえないよう設置場所に配慮している。手紙を投函したい方はポストまで同行、支援している</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者の方が安心して過ごせるように目配りを心がけている 花畑があり季節の花を利用者の方が摘んで廊下、食堂、居室等に飾り楽しんでいる</p>	<p>共用空間は、全体が広々と明るく清潔感が漂っている。リビングや壁には、季節毎の行事参加の写真や生け花等が置かれており、利用者がゆっくりと落ち着ける家庭的な雰囲気になっている。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共用の場では、利用者の方が集まりお茶を飲んだり、会話を楽しんだり、新聞、テレビ等を観ながら個々に楽しく過ごしている</p>		
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居の際には使い慣れた家具、寝具、仏壇などを配置し、安定した生活を送れる様に個々に相談している</p>	<p>本人や家族と相談しながら、使い慣れた家具や寝具、仏壇や家族の写真等が持ち込まれ、本人が居心地よく過ごせるよう工夫し、全体的に綺麗に整頓された居室になっている。</p>	
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ご本人の出来ることを、把握し、状況に合わせて安全を見守りする 居室内の手摺も増加し不安のない生活を送れるよう支援している</p>		

目標達成計画

作成日: 平成 23年 12月 22日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	29	月1回の地域資源に参加をしている方が現在4名なので、多くの方が参加して違った環境を感じて頂きたい	経費がかかる為にご家族の意向を考慮しながら、無料で楽しめる資源参加も選出している。今後6名は可能です	集団に入ってもなじめる心身状態の方の見極めをし、参加した方からお話を聞いて、雰囲気を感じて頂く	3か月
2	45	入居者の入浴希望日になっておらず、入浴日が月曜日・金曜日と指定をしている。夜の希望や午前中の希望に対応ができていない	ご本人の入りたい時間や気分を確認しながら、その日の入浴予定を立てていく	入居者にアンケート的に意見・要望を聴き取り、職員が認識できる様に進めていく	6か月
3	49	今までの生活で、自由に外出などをしていたのに、時間の制限や行先を固定化している。特に冬季には、外出が減っている	行先などは希望に添える様にし、買い物希望には、スーパーへ出向き、陳列や旬の物を眺めたり触れたりしながら、必要に応じて買物をする	ストレスの発散、五感刺激の機会として、職員も一緒に気分転換のチャンスとしての外出を認識していく	6か月
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0172900862		
法人名	有限会社シエナリゾート		
事業所名	グループホームことぶき ()		
所在地	旭川市3条通21丁目1973-10		
自己評価作成日	平成23年12月22日	評価結果市町村受理日	平成24年1月10日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0172900862&SCD=320
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	タンジェント株式会社
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内
訪問調査日	平成23年12月22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

外出の支援...四季折々に外出し、気分転換、運動量の確保、五感刺激の為に一年中に渡り実施している。(冬まつり見物・河川敷きに野鳥観察・花見・花壇公園散策・上川神社祭の縁日見物・秋の遠足・紅葉狩り・寿司外食)
行事...施設内でも、ストレス発散し、日々楽しく生活出来る様に一年中に渡り実施している(誕生会・節分豆まき・節句の祝い・七夕飾り・夏祭り盆踊り・敬老の日祝い・クリスマス会・他にボランティアによる演奏会)
食事の提供...献立は旬の食材を豊富に使い、好みに合わせた食事の提供をしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します			
項目	取り組みの成果 該当するものに 印	項目	取り組みの成果 該当するものに 印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求 めていることをよく聴いており、信頼関係ができ ている (参考項目:9,10,19)
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が ある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地 域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係 者とのつながりが広がり深まり、事業所の理 解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表 情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく 過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟 な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所で働く職員全員が事業所の理念を理解し、意識を持ちながら実践している		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会の行事参加したり、町内の飲食店に出かけ外食の場をつくり、地域住民との交流を深めている		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近隣の方々には行事に参加していただきお付き合いをさせてもらっています		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	事業所の取り組み内容や避難誘導訓練等、活動内容報告や意見を聞いていただいている		
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	地域包括支援センターとの情報交換、研修会などに参加して、実情を把握するようにしている		
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関施錠の時間帯あるが、家族等の納得の上、事業所の工夫、取り組み方針を示し報告のうえ実施する		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日常生活から入居者に対する態度、会話での言葉使いなど話し合い虐待など行わない様、従業者は認識している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度が必要との相談があれば、指導を受け関係者を支援していく用意がある		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、利用料金や起こりうるリスク、重度化の対応方針、医療体制を詳しく説明、同意を得ている		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族には、アンケートや訪問時に問いかけ、出された意見、要望などはミーティングで話し合い反映している		
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	利用者の不安、意見などはその都度、話し合いを持ち全職員で意見や提案を上げ運営に反映している		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の意向を重視しながら、職場内で活かせる環境づくり、向上心を持って働けるような配慮、対応をとめている		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修の情報を収集し、研修報告書や職員会議で発表してもらい全職員に伝え共有している		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他グループホームへの見学や交流を強化し経験、意見交換などを参考にし、サービスの質の向上に取り組んでいる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	本人の今の思いを受け止め傾聴し、信頼関係の築ける様、心がけている		
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	これまでの介護に対する家族の思いやご苦労を理解し、今後の要望を聴き、信頼関係を築けるよう努めている		
17		<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	本人、家族の思い状況を見極め必要なサービスに繋げていく様努めている		
18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	本人の思いを共感し、共に暮らす同士として支えあって生活している		
19		<p>本人を共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	本人の状況を常にお伝えし、情報共有に努め、支えあう関係を築いている		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	知人、友人などの馴染みの人達との関係を続けていける様外出等の支援をしている		
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	入居者同士の係りを見守り又は会話に加わりながら関係が円滑になる様支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後もご家族から連絡があったり来訪されたりと、断続的な関わりをもっている		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思いに気を配り、声かけをしながらその方の心情を把握する様に努めています 表情も良く観察するようにしています		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	その方の行動原因が過去の生活歴に基づくものが多いので本人や家族の方に以前の生活歴や、暮らしぶりを聴くようにしています		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活リズムがあるのでそれを理解し、把握するよう努めています		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人や家族の意向を聴きながら、生活目標を設定するよう努めています 職員全員で意見を出し合いカンファレンスをおこなっている		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々のケース記録を用意し、日々の生活を記録している。情報を職員間で共有し、より良い介護計画をつくれるように努めている		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族とのお出かけや外泊の支援、医療機関への通院などにも対応しています		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	公民館主催の「ふれあいサロン」に参加して楽しんでいる方もいるので、体調を見ながら参加できる人が増えるように支援する		
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の意見を聞き入れながらかかりつけ医のいる病院に受診する事で安心してもらえるように支援しています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員は勤務していないので、介護職員が通院対応、緊急時には救急車の対応を行っている		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	主治医との関係を常に大切に互いに密に情報交換できるよう心がけている		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で行えることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族との話し合いをいつでも持てるような雰囲気づくりをし、相談活動も良く行っている		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	すべての職員が身に付けているとは言えない		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2度の避難訓練を地域の参加と共に全職員で実施し、マニュアルの研修も行う。消防署の指導を受けながら地域の協力体制をつくっている		
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の考えを尊重し、思いやりの気持ちで接する様に心がけている		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	買物や外出、訪問パン屋さんなどに好みを選んで自分から支払いをする方もいる		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の都合に合わせての時間の流れになりがちなので個人々のペースで生活が出来る様に支援していく		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問美容室を受けたり気候に合った洋服選びを助言したり、化粧をするなどをしていく		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個々の好みを把握し、旬の食材など、畑から一緒に採った野菜の下準備をし、その日のメニューに取り入れ食事と会話を楽しむ。後片づけもその日の体調に合わせて行っている		
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々に合わせて食事の量の調節をし、盛り付けなどにも工夫して完食した喜びを共感する		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	利用者の状態に合わせ食後は洗面所に誘導、自分で出来る方は声かけ、見守り、出来ない方に関しては、毎食後のケアを行い、嚥下障害による肺炎の防止などにも努めている		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	自尊心に配慮し、利用者の様子から敏感に察知し、身体機能に応じて、支援したり、歩行介助している。トイレの排泄を大切にしながらパッドや紙パンツ類も本人に合わせて検討している		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄パターンを記録し、便秘の方には牛乳やヨーグルト等で十分な水分補給、繊維質の多い食材を提供している。毎日のラジオ体操と水分補給の徹底を行い、便秘対策に取り組んでいる		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	一人ひとりの体調や希望を踏まえた上実施。入浴者の記録を行い常に全員が衛生的であるようにしている		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間の安眠のために日中の活動を促したり、不眠の方がいた場合、話し相手になったり、お茶やホットミルクを差上げたり、心が落ち着く様支援している		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの薬の内容を把握するために作成、職員全員が情報を共有し、理解するよう努めている。服薬時手渡し、又は直接服薬介助等の服用確認の徹底をしている		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとり無理なく出来る事をお願いし、感謝の言葉を忘れないよう心がけている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>気候に合わせて景色を観たり、外気に触れる事が出来る様、本人と相談し行っている</p>		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>少額を手持ちしている人もいます。家族さんよりお金を預かり、事業所で管理。外出時には自分で払ってもらう様に渡して支援しています</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>居室に電話がある方も居られ、他者に聞こえないようなプライバシーも配慮している。手紙もポストと一緒に出しに行くなどしている</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>フロアの飾り付けや家具の配置は利用者と一緒に考えて自分が住んでいる家だという意識を高めてもらうようにしている。お年寄りにとって懐かしく感じたり使い易い品物を選んで置いている</p>		
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>畳のスペースやホール椅子、テーブルの配置により独りで新聞を読んだり、何人かでテレビを観たり、お茶を飲んだり、くつろげる様に工夫している</p>		
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>箆笥やベッド、仏壇他、入居者さんの馴染みのある品々を置いたり、職員が本人の意向を聞いて確認しながら居心地の良さに配慮している</p>		
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>本人にとって、「何がわかりやすいのか」できる事を把握し、状況に合わせて見守り、力を発揮できる様支援している</p>		

目標達成計画

事業所名 グループホームことぶき()

作成日: 平成 23年 12月 22日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	17	ご家族の要望で入居に至った場合があり、ご本人の気持ちが対応できない様な事がある	ご本人が見学をされて、意思を尊重し納得の上で入居されるように、ご家族に助言をする	ご家族よりもご本人の意向を聴き取り、何度もご本人とご家族が話し合ってから入居を決める	12か月
2	23	一人ひとりの生活リズムに合わせた対応が出来ていない時があり、夜間帯には寝る様に、行動を静止している事がある。夜に寝られる様に、昼間には起きた生活を支援している事がある。	一人ひとりの思いや過ごし方、依然の環境を理解し、現状に即した対応をする	その人らしい生活が送られる様に、職員が意識を持ち、柔軟な対応を行える様に、内部研修などで取り組む	12か月
3					
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。